



システムモール 2014 開催

今年は平成26年8月28日(木)に「システムモール2014」を開催いたしました。
今回も、月末のお忙しい中100名近くのお客様にご来場いただき、大盛況の中、閉会する事が出来ました。
これもひとえにユーザー様のご支援の賜物と社員一同心より感謝しております。
また、多くの展示企業様のご協力により様々なシステムの展示も行い、大変好評のうちに終了いたしました。
ご協力いただきました企業様、ご参加いただいたお客様に心より御礼申し上げます。

■基調講演1

『今そこにあるビッグデータ
～ 大量データの利活用と個人情報保護 ～』

講師:北海道大学 大学院情報科学研究科 教授 山本 強 様



■基調講演2

『公共施設等総合管理計画と策定事例について』

講師:株式会社まちづくり計画設計 統括技師 足達 健夫 様



■システム展示会

証明データベース構築による各種証明ソリューション

スリーディー・システムズ社製3Dプリンター

北海道自治体クラウドソリューション

インメモリ型分析ツール「QlikView」

コミュニティナビゲーター縁(えにし)

指定管理者制度(PFI手法)等の民活利用

驚異の低価格複合生体認証システム

(顔認証、指認証、暗証番号、非接触ICカード)

公有財産管理システム「万財7」

公営住宅管理システム「住まいる7」

公営企業会計システム「PASS7」

富士ゼロックスシステムサービス株式会社

キャノンマーケティングジャパン株式会社

株式会社HARP

株式会社アシスト

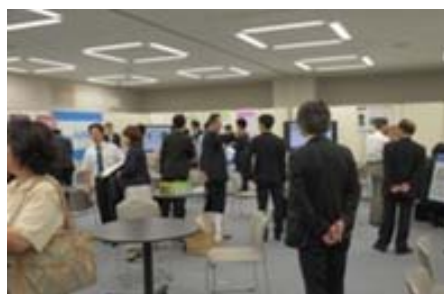
株式会社札幌ネクシス

日本管財株式会社

株式会社フィット

システムバンク株式会社

(順不同・敬称略)



■システム勉強会

【 公営住宅管理システム勉強会 】

『これからの中小規模事業者における公営住宅管理
～指定管理者への委託など、PFI手法の適用～』について
講師:日本管財株式会社 事業部長 秋定 孝史 様

『公営住宅等長寿命化計画の策定事例と今後の展開』について
講師:株式会社まちづくり計画設計 代表取締役 佐藤 邦昭 様

『“住みいる7”延滞金・賠償金管理機能』について

【 公営企業会計システム勉強会 】

『キャッシュフロー計算書の構造と仕組み、消費税増税(10%)による
予算・決算への影響』について

講師:公認会計士・税理士
北海道大学会計専門職大学院特任准教授 名和 幸雄 様

【 公共施設管理(公有財産管理)システム”万財7”勉強会 】

『公会計新基準(統一基準)の内訳、新基準での財務諸表作成までのスケジュール
公共施設等総合管理計画における固定資産台帳整備の狙い(用途・機能)』

講師:税理士 原久事務所所長、公会計サポート代表取締役
一般社団法人地方公会計研究センター(LPRC)会員 原 久 様

【 確定申告支援システム勉強会 】

平成26年度分確定申告作業に向けての説明

説明:テクノ・マインド株式会社 第三ソリューション本部 官公システム部
グループマネージャー 三浦 勉 様
大宮 知之 様



弊社事務所移転のご案内

平成26年9月16日より下記の通り、新事務所にて業務を開始する運びとなりましたので
ご案内申し上げます。

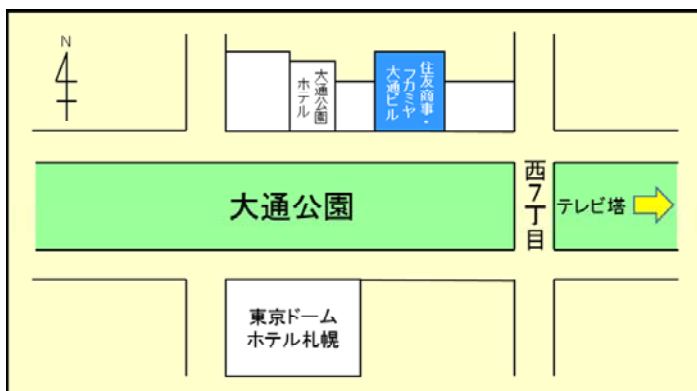
郵便番号 060-0042

住 所 札幌市中央区大通西8丁目2番地
住友商事・フカミヤ大通ビル 2F

電話番号 011-219-2161

FAX番号 011-219-2152

また、移転に伴い、室蘭開発センターが本社と統合しました。
今後のご連絡先は上記の札幌本社までお願いいたします。



1. 新地方公会計統一基準に至る

さる平成23年度末、各地方自治体は総務省の要請から、いくつかの基準に従い複式会計による財務諸表を作成し公開を行いました。

(あくまでも建前ですが・・・)

総務省の調査によると90%以上の地方自治体が、要請に従い財務諸表の作成済、または作成中と回答しています。

(ただ私が訪問した自治体の財政担当者に話を聞いた限りでは、作成中というのはやっていないのに等しい状況のようです。)

従って90%以上が対応済みというのは信憑性に欠けるとは思いますが、正式な回答として各自治体が答えたものを総務省がまとめ公表したデータです。

これで終わりなのかと置いていたら、なんと！いくつかの基準に沿って作成を許していた財務諸表を統一すること、それも基本的に”基準モデル”に統一することになりました。

固定資産台帳の整備を強く進めていた私たちにとっては、方向が間違いではなく、その上正しかったことが改めて確認できました。

総務省は各自治体の負担を最小限に抑えるため特別交付税措置を実施し(平成26年度～29年度まで)、コンピュータシステムの必要性から無償でシステムを提供しようとしています。

また財務諸表の作成のためのマニュアル及び連結決算用のマニュアルも提示しようとしています。

このことは各自治体においては逃げ道を塞がれた？状態であるとも言えます。

いずれにしろ平成29年度末までに、平成28年度決算をもって統一基準に沿って財務諸表を作成しなければいけないということでしょう。

正式には平成27年1月に通知されることとなっています。

2. 公会計制度の歴史

さて、ここでいったいいつからこの会計制度になったのか調べてみました。何と最初は複式簿記だったんですね。

明治政府は、すべての官庁に複式簿記を導入することとし、明治8年には大蔵省の出納簿の記帳方法を全て複式簿記に改めました。

明治9年1月大蔵省に簿記法取調掛を設置、府県へは明治11年8月大蔵卿大隈重信が簿記法改正を太政大臣三条実美に提出し、一ヶ月後の9月には太政官より複式簿記を採用するよう通達を出しました。

明治14年4月にはそれまでの諸法規を整理、体系化した予算の作成から決算の終了まで一貫した予算・財政制度を成分化した会計法(太政官達33号)が制定され、この会計法では、当然、帳簿への記入は全て複式簿記に基づいて行われると同時に、時価主義による「財産目録」の作成が義務付けられました。ここに、複式簿記による近代的公会計制度がほぼ確立したこととなります。

－ 社長コラム 公会計改革に向けて －

ところが、明治22年、プロイセン憲法に範をとった大日本帝国憲法が発布され、この憲法の附属法として「會計法」が制定されました。

この會計法は、プロイセンのカメラル式簿記法(官庁簿記)にならったもので、単式簿記現金主義を基調としていました。

そのため、すべての地方自治体の会計は複式簿記から単式簿記に戻ることとなります。

ということで以来120年以上にわたり単式簿記が採用されてきましたが、ここ

きて国・総務省は一般会計:単式簿記を本気で複式に切り替えたいようです。しかしこの複式化については研究会が何回も開催され、古くは昭和34年に複式会計にすべきとの答申がされています。

3. 新地方公会計;さあ、やりましょう

完全無視された状態で50年以上が経過していますが、先に複式化を図った先進諸国(先進国といわれる国々で単式簿記を採用しているのは日本だけらしい)での改正例がたくさんあることからそれらを参考にしつつ進めていけば5~6年間で制度改正は可能であると考えられています。

なかなか進まないのは、単に政治家・役人が”変えるのが面倒くさい”のか、もしくは、国民または住民に”正しい情報を伝えたくない”かのどちらかなのでしょうか。

地方自治体の職員の皆さん、特に40~50歳代の皆さんは、日本の成長期、バブル期を経験し、衰退期の真っ只中にいます。

この先20年後にはすでに退職されている方も多いでしょう。

しかし、子の代、孫の代につけを残さないためにも私たちの世代のうちに複式簿記を採用し、財務状況をクリアに表せるようにすることは絶対に避けられない責任であると思います。

前述しましたが、120年も続いてきた制度を変えるという作業が目の前にあるという幸運はめったにあるものではありません。

大いに幸せに浸りながらこの意義のある歴史的な仕事に向かっていきましょう。

微力ながらシステムバンク株式会社は全力で皆さんをサポートさせていただきます。

システムバンク株式会社

代表取締役社長 坂克幸

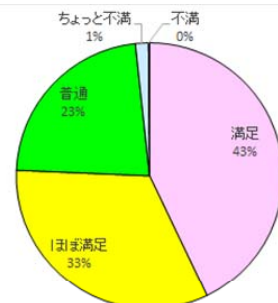
お客様アンケート結果

弊社では、お客様が弊社の製品をご使用していただくにあたり不満や不便がないか、マニュアルに不備はないか、及び弊社社員の対応は満足のものか等の調査を顧客アンケート(対象 団体数 245団体)として定期的に行っております。回収した結果は今後の検討事項とし、社内及び各担当部署で話し合いを行い、より良い評価をいただけることを目標に使用させて頂いております。

◆営業担当者

評価内容

- ◇ 電話や訪問時の言葉づかいや礼儀について
- ◇ システムの内容、価格、納期などを明快に説明していますか
- ◇ お客様に対する提案力
(商品関連知識・関連動向・技術情報)について
- ◇ 約束した事項の実行、納期の遵守について
- ◇ 営業担当者に満足していますか



◆保守・問合せ担当者

評価内容

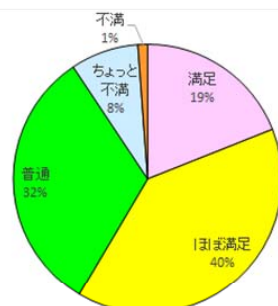
- ◇ 電話や訪問時の言葉づかいや礼儀について
- ◇ システムの機能、例外、操作などを明快に説明していますか
- ◇ お客様からの問合せに正しく理解し、対応していますか
- ◇ 約束した事項の実行、納期の遵守について
- ◇ 保守・問合せ担当者に満足していますか



◆システム/プログラム製品

評価内容

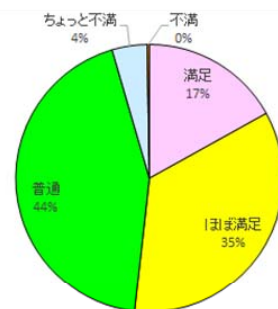
- ◇ 機能(お客様が要求している事項への適合度)
- ◇ 性能(処理速度・応答速度)
- ◇ 信頼性(不具合等で停止することがないか)
- ◇ 操作性(一貫性・見易さ)
- ◇ システムに満足していますか



◆マニュアル/ホームページ

評価内容

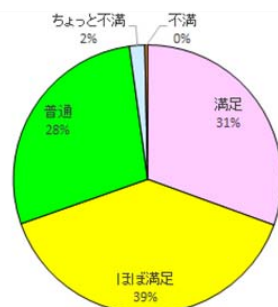
- ◇ マニュアルの使い易さ(目次・索引・章立て)
- ◇ マニュアルの解かり易さ(説明文・図解)
- ◇ ホームページの見易さ(URL <http://www.sbn.co.jp/>)
- ◇ ホームページのサポート情報の見易さ
- ◇ ホームページのサポート情報の情報量



◆導入担当者

評価内容

- ◇ 個別で要求した事項(改造など)に対して満足していますか
- ◇ 作業内容の説明と結果報告に満足していますか
- ◇ 操作説明の内容に満足していますか
- ◇ 導入にあたり、普段の業務に最低限の影響ですみましたか
- ◇ 計画通りの日程で導入できましたか



新人コラム

【入社から半年が経ち】

入社した4月から半年が経過し、もう11月です。暖かかった4月とは比べものにならないほど寒く、日増しに寒さが身にしみる季節となってまいりました。振り返ってみると入社してからの半年はとでもあつという間に思えます。社会人としてのマナーやコンピュータに関する知識がわずかしかなかった自分にとって、すべてが新しいことで、毎日が学習・挑戦・失敗の繰り返しでした。半年経った現在でも先輩方に教えていただきながら作業するという毎日ですが、それでも4月の頃よりは成長できているのかなとも感じます。成長できているといっても、ほんとにわずかなものであると思います。まだ始まったばかりでこれから覚えなければいけないことも数え切れないほどありますし、さまざまな困難に直面することもあると思いますが、ひとつひとつを確実に吸収できるよう、日々努力してまいりたいと思います。

導入技術部 小山 成美



【入社して半年】

気が付けば季節は夏から秋へと変わり、寒さが身に染みるようになりました。4月に入社して早いもので半年が過ぎました。入社した日が昨日であったかのように、あつという間に時が過ぎたように感じています。この半年を振り返ってみると、仕事についていくのに必死だったことを思い出します。その中で、今自分がやっていることに「興味を持つこと」が大切だと改めて思いました。興味を持つことは、物事を深く理解する手助けになると実感しています。しかし、まだまだわからないこともあり、周りの方々に助けを求めることが多々ありますが、少しでも早く一人前の技術者になれるように努力したいと思っています。また、これから壁にぶつかることもあると思いますが、何度でもトライするチャレンジ精神を持って仕事に取り組みたいと思います。

導入技術部 佐藤 亜佑美



システムバンク製品ラインナップ

自社開発しているメイン6つの製品についてご紹介します。
住まいる7、万財7、PASS7、法人7、JU-TAN7については自治体様向けのシステムであり、セルヴィスEXについては病院様向けのシステムとなっています。
詳細につきましては弊社Webサイト(<http://www.sbn.co.jp>)をご覧くださいか、もしくは弊社営業までメール(eigyos@sbn.co.jp)または電話でお気軽にお問い合わせ下さい。



公営住宅管理システム
住まいる7

全国で200の団体様で
運用されております。



公有財産管理システム
万財7

全国で61の団体様で
運用されております。



公営企業会計シリーズ
PASS7

全国で53の団体様で
運用されております。



法人住民税システム
-NORITO7-
法人7

全国で15の団体様で
運用されております。



下水道受益者負担金システム
JU-TAN7

全国で25の団体様で
運用されております。

看護師勤務表作成システム
セルヴィスEX™
SERVIS
ex
NEW!

編集後記

北海道も各地で初雪の便りが聞こえ始め、本格的な冬の到来が近い季節となりました。今回初めてシステムバンク通信を担当することになったのですが、不慣れなことが多く時間ばかり過ぎてなかなか思うように作業ができませんでした。もしかすると表現等の一部に不備があるかもしれませんが、次回担当するときにはもう少し要領良くできるように頑張りますので今回は暖かい目で見守っていただければと思います。(H・Y)